



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社KOKUSAI ELECTRIC 上場取引所 東
コード番号 6525 URL <https://www.kokusai-electric.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 金井 史幸
問合せ先責任者 (役職名) 経営戦略本部 本部長 (氏名) 橋本 卓資 TEL (03) 5297-8515
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け決算説明会)

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	131,661	△29.1	24,062	△46.4	23,614	△47.5	16,727	△47.7	16,727	△47.7	18,433	△43.8
2023年3月期第3四半期	185,636	△1.9	44,918	△23.2	44,997	△21.5	31,966	△22.6	31,966	△22.6	32,782	△21.9

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	72.54	70.11
2023年3月期第3四半期	138.74	133.88

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	371,193	180,354	180,354	48.6
2023年3月期	370,263	160,881	160,881	43.5

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—		
2024年3月期（予想）				11.00	11.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	△26.7	29,109	△48.1	28,280	△49.4	20,200	△49.9	20,200	△49.9	87.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	231,955,113株	2023年3月期	230,404,200株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	－株	2023年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	230,603,485株	2023年3月期3Q	230,400,932株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積り及び予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知及び未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績の概況	2
(2) 財政状態の概況	3
(3) キャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	5
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更.....	5
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(1株当たり情報)	13
(セグメント情報)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州における地政学リスクの長期化や欧米各国の政策金利の引き上げによる金融不安、為替相場の変動等の影響により、先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く事業環境は、不透明な経済環境を受けてスマートフォンやパソコン等の電子機器の需要が引き続き低調に推移しているものの、半導体デバイス市場では在庫調整が進んでおり、メモリデバイス単価の上昇が見られ始めたことから、市況が底を打ったとの見方をしております。

中長期的には、5G、AI、IoT、DXの拡がりによるデータセンターの拡充や環境負荷低減への投資(GX)等により、半導体関連市場は大きな成長が見込まれております。そのため、NANDに対する投資抑制が続いているものの、全体としては成熟ノードを含むDRAM、Logicに対する安定した投資とともに先端品開発に対する投資が継続されております。

こうした状況において、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上収益は、NANDに対する投資抑制を受け、1,316億61百万円(前年同四半期比29.1%減)となりました。売上収益の減少に伴い、営業利益は240億62百万円(同46.4%減)、税引前四半期利益は236億14百万円(同47.5%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は167億27百万円(同47.7%減)と、前年同四半期と比べ減収減益となりました。なお、当社グループは中長期的な需要増加に対応するため、積極的な研究開発投資及び設備投資を継続しております。

一方、第1四半期連結会計期間を底に業績の回復傾向が顕著になってきており、当第3四半期連結会計期間における当社グループの業績は、第2四半期連結会計期間に比べてさらに改善し、売上収益は539億56百万円(前四半期比19.9%増)、営業利益は106億89百万円(同13.9%増)、税引前四半期利益は107億42百万円(同17.5%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は79億14百万円(同28.5%増)となりました。

なお、当社グループは、半導体製造装置事業による単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(参考情報)

当社グループは、経営成績の推移を適切に把握するために、調整後営業利益、調整後EBITDA及び調整後当期(四半期)利益を算出しております。これらは国際会計基準により規定された指標ではなく、当社の業績を評価する上で、通常の営業活動の結果として投資家が有用と考える財務指標であり、上場準備のために発生する上場関連費用等の非経常的なものについて除外しております。

① 調整後営業利益、調整後EBITDA

(単位：百万円)

	第8期 第3四半期 連結累計期間	第9期 第3四半期 連結累計期間	第8期
	自2022年4月1日 至2022年12月31日	自2023年4月1日 至2023年12月31日	自2022年4月1日 至2023年3月31日
営業利益	44,918	24,062	56,064
－その他の収益	△251	△425	△270
＋その他の費用	152	97	1,562
(調整額)			
＋企業結合により識別した無形資産等の償却	4,777	4,777	6,369
＋スタンドアロン関連費用(注3)	277	214	353
＋株式報酬費用 (業績連動型株式報酬制度に係るものを除く)	83	324	173
調整額 計	5,137	5,315	6,895
調整後営業利益(注1)	49,956	29,049	64,251
＋減価償却費及び償却費	2,915	3,323	3,934
調整後EBITDA	52,871	32,372	68,185

② 調整後当期（四半期）利益

(単位：百万円)

	第8期 第3四半期 連結累計期間	第9期 第3四半期 連結累計期間	第8期
	自2022年4月1日 至2022年12月31日	自2023年4月1日 至2023年12月31日	自2022年4月1日 至2023年3月31日
当期（四半期）利益	31,966	16,727	40,305
－その他の収益	△251	△425	△270
＋その他の費用	152	97	1,562
(調整額)			
＋企業結合により識別した無形資産等の償却	4,777	4,777	6,369
＋スタンドアローン関連費用（注3）	277	214	353
＋株式報酬費用 (業績連動型株式報酬制度に係るものを除く)	83	324	173
－調整項目に対する税金調整額	△1,542	△1,527	△2,507
調整後当期（四半期）利益（注2）	35,462	20,187	45,985

(注) 1. 調整後営業利益は以下の算式により算出しております。

調整後営業利益 = 営業利益 (IFRS) - その他の収益 + その他の費用 + 企業結合により識別した無形資産等の償却 + スタンドアローン関連費用 + 株式報酬費用 (業績連動型株式報酬制度に係るものを除く)

2. 調整後当期（四半期）利益は以下の算式により算出しております。

調整後当期（四半期）利益 = 当期（四半期）利益 - その他の収益 + その他の費用 + 企業結合により識別した無形資産等の償却 + スタンドアローン関連費用 + 株式報酬費用 (業績連動型株式報酬制度に係るものを除く) - 調整項目に対する税金調整額

3. スタンドアローン関連費用は、IFRSの導入、適時開示体制構築及び内部統制体制構築等の上場関連の一時的な費用であります。

(2) 財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、3,711億93百万円となり、前期末に比べ9億30百万円増加しました。将来に向けた部材確保により棚卸資産は196億23百万円増加、富山県砺波市の新工場建設等により有形固定資産が147億81百万円増加しました。一方で下記(3)キャッシュ・フローの概況に記載のとおり現金及び現金同等物は195億55百万円減少、顧客投資抑制・延伸による売上収益減少に伴い営業債権及びその他の債権は102億58百万円減少、無形資産は償却等により44億93百万円減少しました。

負債合計は、1,908億39百万円となり、前期末に比べ185億43百万円減少しました。主な内容として、契約負債の減少44億91百万円、法人所得税の支払による未払法人所得税の減少43億38百万円、営業債務及びその他の債務の減少40億13百万円、借入金の減少30億円によるものであります。

資本は、1,803億54百万円となり、前期末に比べ194億73百万円増加しました。主な内容として、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上等による利益剰余金の増加170億25百万円及び為替相場の変動に伴う在外営業活動体の換算差額の増加等によるその他の資本の構成要素の増加21億13百万円によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの概況

現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前期末に比べ195億55百万円減少し、864億98百万円となりました。当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期に比べ237億71百万円減少し、69億52百万円の支出となりました（前年同四半期168億19百万円の収入）。主なキャッシュ・フローの減少要因としては、棚卸資産の増加187億38百万円、営業債務及びその他の債務の減少144億73百万円、法人所得税の支払額106億28百万円によるものであります。一方で主な増加要因は、四半期利益の計上167億27百万円、営業債権及びその他の債権の減少107億38百万円によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として有形固定資産の取得による支出により、106億36百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として長期借入金の返済による支出により、32億68百万円の支出となりました。

(4) 今後の見通し

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年10月25日公表の「東京証券取引所プライム市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、当社グループは富山県内に富山事業所及びグループ会社拠点を有しておりますが、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震による甚大な被害はなく、1月9日より通常業務を順次開始しております。そのため、当社グループ業績への影響は軽微です。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

会計方針の変更

要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、以下の項目を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、当第3四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。

基準書	基準名	新設・改定内容及び経過措置の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	重要な（significant）会計方針が変わって重要性がある（material）会計方針を開示するための改定

デリバティブ及びヘッジ会計

当社グループは、為替リスクをヘッジするために、先物為替予約契約のデリバティブを利用しており、先物為替予約契約をヘッジ手段として、第1四半期連結会計期間よりヘッジ会計を適用しており、それ以前はヘッジ会計を適用しておりませんでした。

このデリバティブは、契約が締結された日の公正価値で当初測定し、当初認識後も公正価値で測定しており、再測定の結果生じる利得又は損失を純損益に認識しております。ただし、キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分はその他の包括利益として認識しております。

上記の基準等の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	106,053	86,498
営業債権及びその他の債権	47,477	37,219
棚卸資産	67,197	86,820
その他の流動資産	1,917	1,237
流動資産合計	222,644	211,774
非流動資産		
有形固定資産	18,775	33,556
使用権資産	1,718	1,467
のれん	59,065	59,065
無形資産	62,968	58,475
その他の金融資産	1,564	1,645
繰延税金資産	943	1,170
その他の非流動資産	2,586	4,041
非流動資産合計	147,619	159,419
資産合計	370,263	371,193

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	6,000	6,750
リース負債	596	506
営業債務及びその他の債務	41,790	37,777
未払費用	11,036	8,199
その他の金融負債	144	856
未払法人所得税	7,387	3,049
引当金	1,998	1,962
契約負債	28,918	24,427
その他の流動負債	308	172
流動負債合計	98,177	83,698
非流動負債		
借入金	91,500	87,750
リース負債	1,110	946
退職給付に係る負債	3,032	3,116
引当金	95	98
繰延税金負債	15,396	15,104
その他の非流動負債	72	127
非流動負債合計	111,205	107,141
負債合計	209,382	190,839
資本		
資本金	10,005	10,729
資本剰余金	28,341	27,952
利益剰余金	119,783	136,808
その他の資本の構成要素	2,752	4,865
親会社の所有者に帰属する持分合計	160,881	180,354
資本合計	160,881	180,354
負債及び資本合計	370,263	371,193

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	185,636	131,661
売上原価	△108,698	△75,755
売上総利益	76,938	55,906
販売費及び一般管理費	△32,119	△32,172
その他の収益	251	425
その他の費用	△152	△97
営業利益	44,918	24,062
金融収益	911	473
金融費用	△832	△921
税引前四半期利益	44,997	23,614
法人所得税費用	△13,031	△6,887
四半期利益	31,966	16,727
四半期利益の帰属 親会社の所有者	31,966	16,727
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	138.74	72.54
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	133.88	70.11

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	31,966	16,727
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	△13	—
純損益に振り替えられることのない項目合計	△13	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	—	△11
在外営業活動体の換算差額	829	1,717
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	829	1,706
その他の包括利益	816	1,706
四半期包括利益	32,782	18,433
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	32,782	18,433

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産
期首残高	10,000	28,352	79,242	1,819	30
四半期利益	—	—	31,966	—	—
その他の包括利益	—	—	—	829	△13
利益剰余金への振替	—	—	17	—	△17
資本剰余金から資本金への振替	5	△5	—	—	—
株式報酬取引	—	△6	286	—	—
四半期末残高	10,005	28,341	111,511	2,648	—

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素		合計	資本合計
	新株予約権	合計		
期首残高	76	1,925	119,519	119,519
四半期利益	—	—	31,966	31,966
その他の包括利益	—	816	816	816
利益剰余金への振替	—	△17	—	—
資本剰余金から資本金への振替	—	—	—	—
株式報酬取引	130	130	410	410
四半期末残高	206	2,854	152,711	152,711

当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	
				在外営業活動体の換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
期首残高	10,005	28,341	119,783	2,506	—
四半期利益	—	—	16,727	—	—
その他の包括利益	—	—	—	1,717	△11
資本剰余金から資本金への振替	596	△596	—	—	—
株式報酬取引	128	207	298	—	—
四半期末残高	10,729	27,952	136,808	4,223	△11

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	その他の資本の構成要素		合計	資本合計
	新株予約権	合計		
期首残高	246	2,752	160,881	160,881
四半期利益	—	—	16,727	16,727
その他の包括利益	—	1,706	1,706	1,706
資本剰余金から資本金への振替	—	—	—	—
株式報酬取引	407	407	1,040	1,040
四半期末残高	653	4,865	180,354	180,354

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	31,966	16,727
減価償却費及び償却費	7,692	8,100
法人所得税費用	13,031	6,887
金融収益	△911	△473
金融費用	832	921
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△16,223	△18,738
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△10,608	10,738
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	6,611	△14,473
その他	6,177	△5,604
小計	38,567	4,085
利息及び配当金の受取額	120	224
利息の支払額	△730	△633
法人所得税の支払額	△21,138	△10,628
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,819	△6,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,048	△10,360
無形資産の取得による支出	△687	△298
その他	27	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,708	△10,636
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,250	△3,000
リース負債の返済による支出	△428	△484
その他	△30	216
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,708	△3,268
現金及び現金同等物に係る換算差額	601	1,301
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	10,004	△19,555
現金及び現金同等物の期首残高	108,399	106,053
現金及び現金同等物の四半期末残高	118,403	86,498

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
親会社の所有者に帰属する四半期利益 (百万円)	31,966	16,727
四半期利益調整額 (百万円)	—	—
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に使用する 四半期利益 (百万円)	31,966	16,727
加重平均普通株式数 (千株)	230,401	230,603
普通株式増加数		
新株予約権 (千株)	8,065	7,566
譲渡制限付株式 (千株)	303	396
譲渡制限付業績連動型株式 (千株)	3	28
希薄化後の加重平均普通株式数 (千株)	238,772	238,593
基本的1株当たり四半期利益 (円)	138.74	72.54
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	133.88	70.11

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの事業セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは半導体製造装置事業を行っており、事業セグメントは半導体製造装置事業単一となっております。

(2) セグメント収益及び業績に関する情報

当社グループは、半導体製造装置事業による単一セグメントであるため、記載を省略しております。